

国際地震工学研修60周年 ～ 記念イベントの開催 ～

(問い合わせ)

国際地震工学センター
センター長 横井 俊明
Tel 029-864-6648
E-mail tyokoi@kenken.go.jp

1



概要

国連特別基金と日本政府との間の協定に基づき、1960年に始まった**国際地震工学研修**は、各時代折々の最先端の地震学的知見と耐震工学技術を習得させることで、**開発途上国を中心とする世界の地震災害の軽減に貢献してきており、2020年には60周年を迎える。**(これまでに102ヶ国、1,898名が修了)

国際地震工学研修を茨城県つくば市で実施している建築研究所国際地震工学センターでは、関係機関との連携により、第17回世界地震工学会議が仙台で同年9月中旬に開催される機会を捉えた同会議内でのイベント、及びその他の記念イベントを企画している。懇談会では、**国際地震工学研修の概要と、60周年記念イベント企画案を紹介する。**

2



建築研究所(国際地震工学センター)の主な人材育成プログラム

研修期間:1年
言語:英語

地震学コース
地震工学コース
津波防災コース

1960年開設

1194人が修了
(2019.10現在)

国際的な強い要請によりJICA、政策研究大学院大学と連携して実施

研修期間:2ヶ月
言語:英語

グローバル地震観測コース

1995年開設

254人が修了
(2019.10現在)

外務省からの要請により気象庁、JICAと協力して実施

研修期間:2ヶ月
言語:スペイン語

中南米地震工学コース

2014年開設

92人が修了
(2019.10現在)

中南米諸国からの要請によりJICAと協力して実施

研修生は、研修修了後、それぞれの母国で大学、国立研究所、政府機関等において、指導的な立場に就き、地震災害軽減に尽力

3

通年コースは、60回目の研修生を迎えた。



1960年7月6日第1回コース開講式(東京大学)
(アジア協会誌)



第60回(2019年-2020年): 研修生16名。

研修コースのラインナップ

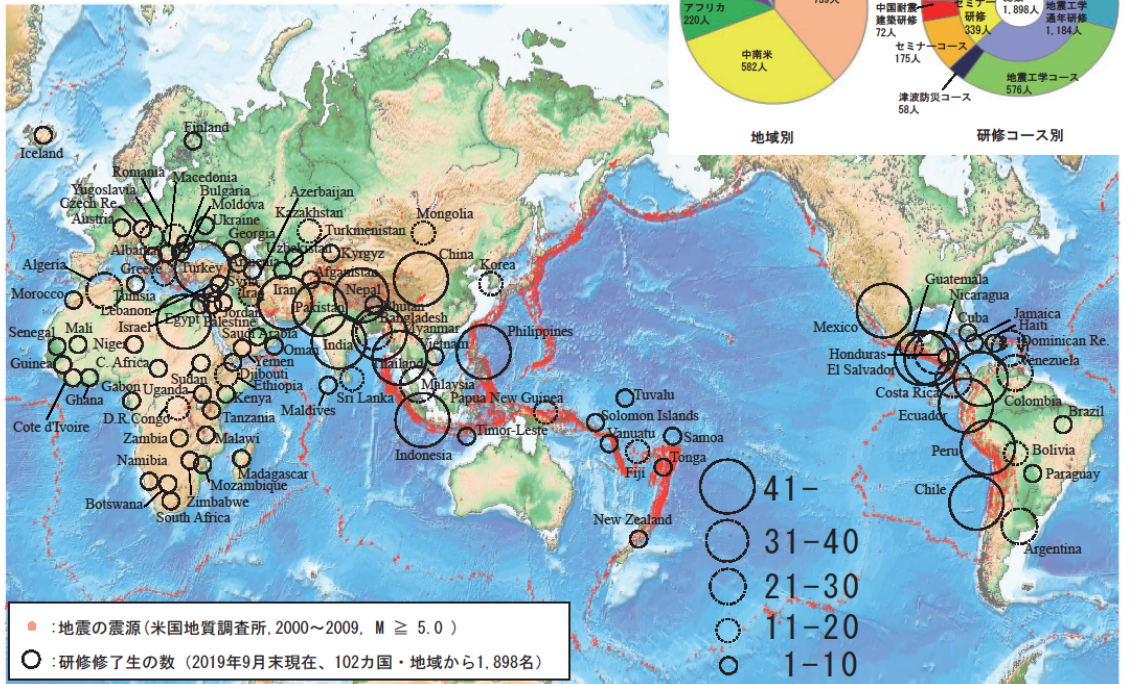
研修コース	専門分野	研修生概数	期間	開始年	研修修了者数	備考
通年研修	地震学	20名程度	1年(10月~翌年9月)	1960	1194	若手対象
	耐震工学			2006		
	津波防災					
中南米地震工学研修	地震工学	10-15名程度	2ヶ月強	2014	92	1898 (102ヶ国) 西語、中堅対象
グローバル地震観測研修	地震学	10-15名程度	2ヶ月	1995	254	核実験探知技術
個別研修	地震学 地震工学	若干名	随時	1968	358	研究

4

Ex-Participants of IISEE Training Courses

Distribution of Graduates Countries (1960-2019.9)

研修修了生の数と出身国



5

記念イベント(案)

- 国際地震工学研修60周年記念誌の作成。
- 第17回世界地震工学会議(2020年9月13~18日、仙台市)への参加
 ブース展示(建築研究所国際地震工学センター)
 建築研究所主催セッション「各国耐震建築基準の比較」
 (UNESCOと連携(申請中))
 UNESCO-IPRED*主催セッション「仙台フレームワークへの貢献」(申請中)への参加・協力。
 (建築研究所国際地震工学センターは、UNESCO-IPREDの主要参加機関)

※ * IPREDとは、建築・住宅分野における地震防災研究・研修の国際的なネットワークの構築、地震防災にかかるデータベースの作成及び地震後の地震被害調査体制の整備を推進することなどを目的とするUNESCOのプロジェクト。日本を含め11カ国が参加している。

6